

# 取組事例

## 1 市町村の事例

---

### (2) 子育て・青少年教育に関すること

**事業名** [PTAリーダー及び家庭教育学級関係者研修会]

**目的** P T Aで「家庭教育学級」を実施する意義や、その企画・運営方法を学ぶことを目的とする。そのために家庭教育の学習はP T A活動の中で本来的な活動であることを認識してもらい、P T Aでの家庭教育学級の積極的な取り組みの定着を図る。

**実施主体** 新潟市教育委員会 生涯学習センター

**参加対象** 学校関係者、保護者

**参加者数** 第1回：174名 第2回：H25.3.17実施予定

**回数** 2回（ただし第1回は同じ内容を8会場計8回実施

**日数** 8日（第1回：7日、第2回：1日） **時間** 22時間

**場所** （第1回）生涯学習センター、黒崎市民会館、岩室地区公民館、豊栄地区公民館、白根学習館、新津地区公民館、亀田市民会館、中地区公民館  
（第2回）東区プラザ（予定）

**内容**

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	5月26日（土） 5月29日（火） 5月31日（木） 6月1日（金） 6月5日（火） 6月7日（木） 6月8日（金）	前半：（講義） 「PTA とはなにか」「家庭教育学級の必要性」  後半：（グループワーク） 「家庭教育学級のプログラムを立ててみよう」	新潟青陵大学 教授 中野 啓明 様 (5/26, 6/5, 6/7) 旧潟東村教育長 小野 庸子 様 (5/31, 6/1) 新潟県子ども会連絡協議会 理事 反町 幸男 様 (5/29, 5/31, 6/8)
	内容・方法	(前半) PTA活動の中での家庭教育の学習の必要性を学ぶ。 (後半) 前半の講義を踏まえた実習として、実際に各PTAで活用できるプログラム作りをワークショップを通じて体験し、家庭教育学級を企画・運営する方法を学ぶ。	
2	期日・時間	テーマ	講師等
	平成25年3月17日（日）	未定	恵泉女学園大学大学院 平和学研究科 教授 大日向 雅美 様
内容・方法	全市の小・中・特別支援学校関係者及び保護者等を対象に、「家庭教育学級」とは何かを講師から講演してもらい、「家庭教育学級」について理解を深めてもらう。		

**成果** ・市内8区で実施したことにより、其々の地域の方から参加していただいた。  
・他学校との情報交換の機会となった。

**課題** ・より多くの学校教諭に研修会に参加してもらえるよう働きかけたい。  
・当年度のP T A役員に参加してもらったが、すでに年間計画は立てられており、実際の事業に反映されにくい。

**問合せ先** 新潟市教育委員会 生涯学習センター 学習支援係（担当 大場）Tel：025-224-2088

**事業名**

〔 まちのお宝探険隊 〕

**目的**

3・4年生だけの宿泊体験を通して、学校の違う新しい友達をつくる。  
まち探険を通して新潟の街を知り、新潟の宝を見つける。

**実施主体**

新潟市大畑少年センター

**参加対象**

小学校3・4年生

**参加者数**

30名

**回数**

1回

**日数**

1泊2日

**時間**

26時間

**場所**

新潟市大畑少年センター（新潟市中央区東大畑通2番町376番地）

**内容**

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	10月13日（土） 9:30～22:00	3・4年生だけの宿泊体験！ まち探険で新潟の宝をさがそう！	大畑少年センター職員 5名 活動補助者 2名
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間作りゲーム、係決め:封印鬼、CHANGE THE LINEのアイスブレイク後、自己紹介をした。その後、自分のあだ名を書いた名札を手作りしたところ、その後参加者はあだ名で呼びあうようになった。</li> <li>・まち探険:新潟の街の歴史を聞いたのち、班ごとにルートを決め、チェックポイントで問題を解きながらまちを探険した。最終ポイントの新潟市美術館では、ワークショップをした。</li> <li>・夕食づくり:とんカツを揚げ、新潟名物のたれカツ丼をつくって食べた。</li> <li>・探険まとめ:まち探険をして、一番印象に残った所（物）、宝だと思った所（物）を絵に描いて、班ごとに探険地図を作り発表した。地図は、しばらく館内に掲示した。</li> </ul>	
2	期日・時間	テーマ	講師等
	10月14日（日） 6:00～11:30	3・4年生だけの宿泊体験！ まち探険で新潟の宝をさがそう！	大畑少年センター職員 5名 活動補助者 2名 鎚器指導者 1名
内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝のつどい:体操をしたのち、全員で自分の宝を発表した。</li> <li>・彫金銅板作り:下絵を書いた銅板をくぎを使って打ち出し、下絵を浮かび上がらせた。その後銅板を薬品にくぐらせ発色させて作品が完成した。</li> </ul>		

**成果**

- ・新潟市の中心部という大畑の立地を生かしたまち探険は、新潟のまちや文化・歴史を知ってもらいいい機会となった。
- ・班ごとに活動する長時間のまち探険で、主体的に選択する力や集団で行動する力が育ち、さらに参加者のきずなが深まったと思う。

**課題**

- ・大畑周辺は文化施設が数多く、探険のコースに詰め込み過ぎから、所要時間をオーバーしてしまった。今後、コース及び施設の数と時間配分に検討が必要。

**問合せ先**

新潟市大畑少年センター（担当:半藤）Tel 025-228-4100

事業名

〔 大畑わんぱくセミナー 〕

目的

失敗を恐れずに、さまざまな事に挑戦するたくましい心を育てる。

実施主体

新潟市大畑少年センター

参加対象

小学校3～6年生

参加者数

192名

回数

8回

日数

8日

時間

1回5時間

場所

大畑少年センター他

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	4月28日(土) 10:00～15:00	センターまるごと遊んじゃお!火おこし体験もあるよ!	大畑少年センター職員2名
	内容・方法	・アイスブレイク後、館内をくまなく探検し、火熾し体験を含めたラリーをした。昼食は、カートンドッグをつくり、釜場で火を付け温めて食べ、午後は、クイズラリーとドッジビーを楽しんだ。	
2	5月19日(土) 10:00～15:00	選ぶのはキミだ!ミッション型オリエンテーリング!	大畑少年センター職員2名 活動補助者 1名
	内容・方法	・アイスブレイク後、ミッションをクリアしながら自分たちで計画した昼食のおかずの買い出しに本町商店街で出かけ、センターに戻ってから班ごとに食べた。午後は西大畑公園で助け鬼をして汗を流し楽しんだ。	
3	6月9日(土) 10:00～15:00	浜焼き&テント張りに挑戦!	大畑少年センター職員2名 活動補助者 2名
	内容・方法	・徒歩で二葉中前浜に移動し、浜焼きとテント張りを体験する予定だったが、雨天の為、食堂でイカやはたはたの干物を焼いて食べた。テントは体育館に建て、ドッジビーや鬼ごっこを楽しんだ。	
4	7月14日(土) 10:00～15:00	竹の台を作ってそうめん流しを楽しもう!	大畑少年センター職員2名 活動補助者 2名
	内容・方法	・アイスブレイク後、そうめんを茹で一緒に流す具材を調理し中庭に移動。半分に割った竹の節を抜き、やすりをかけたのち台を組み立て、交替でそうめん流しを楽しんだ。午後は、竹で玩具(よちよち木登り)を作った。	
5	8月25日(土) 10:00～15:00	みんなで魚を釣って食べよう!	大畑少年センター職員2名 活動補助者 2名
	内容・方法	・海までの諸注意を聞いたのち、日和山浜へ徒歩で移動。釣り場での諸注意を聞いてから、釣りを開始した。90分間釣ったのち、昼食。釣りあげた鱈は、その場で油で揚げ、南蛮漬けや塩コショウで味付けして食べた。	
6	9月8日(土) 10:00～15:00	サンドアート&海で料理に挑戦!	大畑少年センター職員2名 活動補助者 2名
	内容・方法	・アイスブレイク後昼食用のおにぎりをつくり、二葉中前浜へ徒歩で移動。砂浜にブロックで釜場を作り、イカとおにぎりを焼いて食べた。午後は、シャベルやスコップ、プラスチックのカップ等を使ってサンドアート作りを楽しんだ。	

	期日・時間	テーマ	講師等
7	10月28日(土) 10:00~15:00	かぼちゃのランタン作り&焼き芋パーティ!	大畑少年センター職員2名
	内容・方法	・参加者全員で、中庭にブロックを運んで落ち葉が飛ばないように釜場を作り、焼き芋を楽しんだ。昼食後、坊ちゃんかぼちゃをカッターとスプーンを使ってくりぬき、顔を切りだしてハロウィンのランタンを作った。灯りは、ボタン電池のキャンドルを使った。	
	期日・時間	テーマ	講師等
8	11月17日(土) 10:00~15:00	忍者になりきれ、大畑逃走中!	大畑少年センター職員3名 活動補助者 2名
	内容・方法	・館内2・3・4階全部を使用し、班ごとにルールを守りミッションをクリアしながらポイントを獲得していく鬼ごっこを楽しんだ。午前に制限時間30分のもので実施し、昼食後、制限時間100分のもので実施した。	

### 成 果

- ・センター利用が初めての人でも気楽に参加でき、その後の継続利用につながった。
- ・毎回職員が企画運営することで、参加者の希望や意見を取り入れたプログラム作りができた。

### 課 題

- ・天候により活動が制限されるので、雨天時のプログラムの充実を図りたい。

### 問合せ先

新潟市大畑少年センター (担当:半藤) TEL:025-228-4100

**事業名**

〔 子ども夏まつり 〕

**目的**

テント泊やきもだめし、野外活動等の活動を通して、集団活動をするうえでのきまりや人とのかかわり方を学ぶ。  
心に残る楽しい夏の思い出を作る。

**実施主体**

新潟市大畑少年センター

**参加対象**

小学校3年生～6年生

**参加者数**

50名

**回数**

1回

**日数**

2泊3日

**時間**

47時間30分

**場所**

新潟市大畑少年センター（新潟市中央区東大畑通2番町376番地）

**内容**

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	8月9日(木) 13:00～21:30	友達いっぱい! 夏の思い出を作ろう	大畑少年センター職員5名 活動補助者 7名
	内容・方法	○1日目 ・仲間作りゲーム・係決め:じゃんけんミリオネア・ロープリレー・ペーパータワー等アイスブレイクを実施して、班内で顔と名前を覚え、係決めをした。 ・テント設営:自らが泊まるテントを班員が協力して建てた。 ・夕食づくり:様々な食材のカレーを野外で調理し、カレーコンテストを行った。 ・ナイトハイク、銭湯体験:センターの立地を生かし、中心街のナイトハイクや銭湯で一般市民と共にマナーを守って入浴体験をしたのち、next21の灯りを見ながらテント泊をした。	
2	8月10日(金) 6:00～21:30	友達いっぱい! 夏の思い出を作ろう	大畑少年センター職員5名 活動補助者 7名 救護者 1名
	内容・方法	○2日目 ・朝食づくり:釜場でカートンドッグをつくった。 ・海あそび:センターから歩いて二葉中前浜に移動し、海あそびを楽しんだ。 ・夕食づくり:班ごとに焼そばや焼とうもろこし、煮こんにやくなど全員分づくり、バイキング方式で皿にとり、屋台メニューを味わった。 ・きもだめし:灯りを消した館内のコースを、謎を解きながら、きもだめしを楽しんだ。職員と活動補助者がおばけ役になり、子どもたちを驚かせた。	
3	8月11日(土) 6:00～11:30	友達いっぱい! 夏の思い出を作ろう	大畑少年センター職員5名 活動補助者 7名
	内容・方法	○3日目 ・清掃帰宅準備:テント撤去の手順の説明を聞いたのち、班ごとに片付けた。 ・創作活動:素焼きの風鈴に絵付けをして、夏まつりの思い出の作品を作った。	

**成果**

- ・1泊より2泊の宿泊体験の方が密度の濃いかかわりとなり、子どもたちの仲間意識が強まり、さまざまな場面で協力する姿をみることができた。
- ・ナイトハイクや銭湯体験など、普段なかなかできない体験ができたと思う。
- ・異年齢間交流や他学校児童との交流を深め、目的が達成できた。

**課題**

- ・募集定員を上回る参加者を受け入れたため、活動補助者の確保が難しかった。
- ・自由時間を希望するアンケートの声が多くあり、来年度はより多くの自由時間をプログラムに組み入れたい。

**問合せ先**

新潟市大畑少年センター（担当:半藤）Tel 025-228-4100

**事業名** [ 子ども冬まつり ]

**目的** 宿泊体験を通し、学校や学年の違う友達をたくさんつくる。  
班の仲間とスタンツ練習を通し、コミュニケーションの大切さを学ぶ。

**実施主体** 新潟市大畑少年センター

**参加対象** 小学校3年生～6年生 **参加者数** 24名

**回数** 1回 **日数** 1泊2日 **時間** 25時間30分

**場所** 新潟市大畑少年センター（新潟市中央区東大畑通2番町376番地）

**内容**

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	12月8日(土) 9:30～21:40	スタンツで最高の思い出を作り、漆器の絵付け体験を通して伝統文化に触れよう	大畑少年センター職員5名 活動補助者 5名 餅つき指導者 2名
	内容・方法	○1日目 ・仲間作りゲーム、係決め:数当て拍手、人間知恵の輪、巨大絵あいまい記憶力、ジェスチャー等のアイスブレイク後、生活班の係を決めた。 ・スタンツ練習:班ごとに何を発表するか話し合い、道具を手づくりし、班に分かれて練習した。 ・餅つきと雑煮づくり:雑煮の具を切り、餅のトッピングを数種類つくって、全員で杵と臼で餅をついて食べた。 ・スタンツ発表、キャンドルサービス:火の神火の子によるキャンドルサービスで厳粛な気持ちになり、スタンツ発表では練習の成果を十分に発揮し、素晴らしい演技が見られた。	
2	期日・時間	テーマ	講師等
	12月9日(日) 6:00～11:00	スタンツで最高の思い出を作り、漆器の絵付け体験を通して伝統文化に触れよう	大畑少年センター職員5名 活動補助者 5名 漆器絵付け指導者3名
内容・方法	○2日目 ・朝のつどい:ラジオ体操後、全員で冬休みに楽しみにしていることを発表した。 ・漆器の絵付け体験:新潟漆器同業組合長の指導もと、子どもたちは漆塗りの豆皿に鉄筆で模様を彫り、職人さんから漆と金粉を塗ってもらい、素晴らしい作品を作ることができた。		

**成果** ・スタンツは、何を発表するのかや小道具の準備も含め班員の話合いが不可欠の活動である。事後のアンケートの回答に、話し合いがたくさんでき、最高のスタンツができたと多くの参加者の声があがっていたので、コミュニケーションの大切さが学べたと思う。

**課題** ・班活動の補助に学生を依頼しているが、この時期学生が忙しく人材確保が難しく課題が残る。

**問合せ先** 新潟市大畑少年センター（担当:半藤） TEL:025-228-4100

**事業名**

中学生まちづくりフォーラム

**目的**

市政や地域のまちづくり活動へ、中学生の興味と関心を高めるとともに、地域のまちづくり活動等への参画を促すことで、中学生の自己肯定感や達成感を高める。

**実施主体**

上越市教育委員会・上越市地域青少年育成会議協議会

**参加対象**

市内中学校生徒（各校2～3名程度）

**参加者数**

50名（延べ200名）

**回数**

4回

**日数**

5日

**時間**

30時間

**場所**

妙高青少年自然の家、上越市教育プラザ、リージョンプラザ上越コンサートホール

**内容**

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	2月18日(土)	中学生まちづくりワークショップ冬	上越市教育委員会職員 地域コーディネーター
	内容・方法	・学校の枠を取り払い、男女比を考慮し、5人程度の班を編成 ・「（仮想）上越市立上越中学校」の生徒会役員と仮定して、「地域の元気は中学校から！」をテーマに、今住んでいる地域を「もっと良くしたい」、地域のために「何か協力したい」、地域に「貢献したい」という意見を出し合い、まとめ、発表する。	
2	期日・時間	8月2日～3日	上越市教育委員会職員 地域コーディネーター 上越市職員
	内容・方法	テーマ：                     ・マイレールアクション ～鉄道をもっと活用するために～                     ・中山間地域の活性化方策                     ・上越市を「スポーツ都市」にするには                     ・小木直江津航路の利用促進	
3	期日・時間	9月29日 11月17日	上越市教育委員会職員 地域コーディネーター 上越市職員 上越市長
	内容・方法	・夏のワークショップで考えた意見をさらにブラッシュアップし、プレゼンテーションソフトで、提言として完成させる。 ・村山市長に対し、テーマごとに各班が提言し、その後、市長との意見交換を行う。 ・「報告書」にまとめ、市役所全体に配布し、周知・共有を図る。 ・フロアの一般市民からも生徒の提言に対する質問や意見、激励なども受け付けた。	

**成果**

- ・参加生徒は、生徒会役員や部活動のリーダーが多く、「ワークショップ」で他校の生徒と交わり刺激を受けて、その後、地域住民と連携した生徒会活動を行う学校もでてきた。
- ・中学校を卒業して高校に行っても、地域のイベントなどに自主的に関わる高校生の姿が見られるようになった。

**課題**

- ・中学生が日々暮らす場所は、平野部、中山間地域、海岸部、中心市街地等と様々である。そのため、グループを編成する中学生が、等しくイメージし、話し合えるテーマの設定が難しい。

**問合せ先**

上越市教育委員会生涯学習推進課（担当：沢田 繁）TEL：025-545-9245

**事業名**

〔青少年文化振興事業「わくわく文化未来塾」〕

**目的**

小・中・高校生を対象として、文化・芸術に親しむ機会を創出し次代を担う人材を育成することで、本市の継続的な文化振興を図る。

**実施主体**

三条市

**参加対象**

市内の小・中・高校生

**参加者数**

11講座、133名（11月現在）

**回数**

月1～2回

**日数**

—

**時間**

—

**場所**

三条市立中央公民館ほか

**内容**

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	6月～3月	子ども達から、楽しみながら「文化」を体験してもらう。	市内の各文化団体
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講座内容…絵画、書道(2)、百人一首、生花(3)、合唱、陶芸、能楽、日本舞踊、将棋(1月開講予定)</li> <li>・市内の各文化団体に委託し実施している。講座日・時間、会場等は講座によって異なる。</li> </ul>	

**成果**

・三条市美術展への出品（高校生）や同美術展の併設展示スペースへの作品展示、各公民館や音楽祭などにおいて、発表の場を設けることにより、子ども達の学ぶ意欲に繋げている。子ども達からはもちろん、鑑賞者からも好評を得ている。

**課題**

・各団体に働き掛けながら、より多くの講座の開設に努め、子ども達に「文化」を体験する場を提供しながら、次世代の育成に繋げていく。

**問合せ先**

三条市 市民部 生涯学習課 文化振興係 tel : 0256-47-0048

**事業名**

〔平成24年度新発田市家庭教育推進事業「入学準備講座」〕

**目的**

来年度小学校に入学する幼児をもつ保護者を対象に、学校生活を送る上で必要となる基礎知識の習得や親としての心構えを考える機会を提供することで家庭教育の充実を図る

**実施主体**

新発田市教育委員会

**参加対象**

来年度小学校に入学する幼児をもつ保護者

**参加者数**

延べ32名

**回数**

2回

**日数**

2日

**時間**

2時間

**場所**

新発田市生涯学習センター

**内容**

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	12月5日 10:30～11:30	もうすぐ1年生！小学校に送り出す親の心構え	元優の森保育園長 寺尾 ちはる 様
	内容・方法	小学校入学前の大切なこの時期に親として知っておきたいこと、ぜひ、やってほしいことを元市内保育園長から講演いただいた。	
2	12月13日 13:00～14:00	集団生活の中で気をつけたい病気	小児科桑島医院 桑島 宏彰 様
	内容・方法	学校保健法で出席停止とされている病気を中心にその予防法、ワクチンや薬について、市内小児科医から講演いただいた。	

**成果**

- 対象を絞り込んだことで具体的なテーマ設定ができた。
- 平日の日中の開催の割にはある程度の参加者が得られたことから、家庭教育に関心のある親が決して少なくないことがわかった。
- 子育てサポーター養成講座修了生による子育て支援グループ「ハニーフレンド」に託児を依頼することで、学習成果の活用が図られた。

**課題**

- 平日の日中の開催に、アンケートから参加しづらいという声があり再考が必要。
- 参加者に緊張した感が見られたため、アイスブレイクを行うなど、リラックスして受講できる環境づくりが必要。

**問合せ先**

新発田市教育委員会 生涯学習課 社会教育係（担当：斎藤百合子）TEL0254-22-9534

事業名

〔 親・支援者養成講座 ～子育てこそ生涯学習～ 〕

目的

家庭教育を学ぶ意欲のある人等を対象に子育て学習の場の提供を図ること及び村上市内で活動しているグループや関係機関等との連携を図り、子育て中の親が安心して相談や支援が受けられる環境づくりを目指す。

実施主体

子育て応援グループほっとみるくの会

参加対象

一般

参加者数

延べ311名

回数

10回

日数

9日間

時間

25時間

場所

村上市教育情報センター

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	7月28日～ 9月15日	子ども 愛着形成の意味と理解 発達障害 個性と理解について 若者 思春期～青年期 自己の確立について	下越教育事務所 社会教育課長 里山 政信 様 ほか
	内容・ 方法	講義①「生涯学習と家庭教育」 下越教育事務所社会教育課長 里山政信様 講義②「幸せの極意」 ほっとみるくの会副会長 山田久美子様 講義③「自立に向けて子ども時代に大切なもの」 第一高等学院新潟校 高木真知子様 講義④「通常学級における特別支援者」 新潟大学教育学部教授 長澤正樹様 講義⑤「思春期から青年期の自立について」 新潟県立大学教授 石本勝見様	
2	期日・時間	テーマ	講師等
	9月29日	サイバー犯罪と現状の危機について	県警察本部サイバー犯罪 対策室 上原 一彦様
内容・ 方法	講義「子どもたちをサイバー犯罪から守るために」		
3	期日・時間	テーマ	講師等
	10月13日～ 12月8日	支援 躓き 育ち 癒し 子ども若者こそ大切な未来	新潟市若者支援センタ ー「オール」 近 昭子 様ほか
内容・ 方法	講義①「若者支援の取り組み」 新潟市若者支援センター「オール」近昭子様・斎藤敦子様 講義②「傾聴実践とその課題」 新潟市ひきこもり相談支援センター相談員 横瀬功様 講義③「傾聴実践とその課題2」 講義④「傾聴実践とその課題3」 グループワーク・グループ討議	〃 〃	

## 成 果

- ・会のメンバーが次世代育成の重要性や困難を有する子ども・若者の育成支援の必要性に改めて気づくことができた。
- ・講座終了後、受講者による自発的なグループがいくつか出来、学習テーマを決め、活動を始めています。（グループ間での情報や課題が共有され、ネットワークを形成していくと思います。）
- ・この事業を通して、村上市内で活動しているグループや関係機関等の連携、子どもたち子育て中の親が安心して相談や支援が受けられる環境づくりの下地、地域全体で家庭教育を支える体制の民間側の土台作りのはじめの一步が踏み出せた。

## 課 題

- ・この講座を受講したメンバーが、地域課題の重要性を共有し、身近な場所での確に子どもの支援ができるような環境や活動できる場が必要になります。そのためには継続して支援者を養成することができるか学習機会の提供が必要になりますが、民間レベルでは限界があることから、行政をはじめ関係機関の協力や、行政と民間の役割分担を明確にしていく必要があります。
- ・今回の事業は、地域の課題や住民ニーズ・次世代の抱える問題を自身の感覚で捉えてほしいとの意図を持ち、公民館や行政職員に協力、参加をお願いしましたが、行政職員の参加はほとんどありませんでした。また受講者アンケートで「この講座をどこで知ったか？」という質問に対し、全部の回を通して公民館という言葉はほとんどありませんでした。若い世代・子育て世代と公民館（地域の社会教育の最前線）との連携が取れていない現状が明らかになりました。
- ・村上市では新たな社会教育施設として「村上市生涯学習推進センター」が完成しました。これまで公民館利用は高齢者層が中心でしたが、今後は、既存の公民館を含め、児童・生徒、子ども・若者、子育て世代などの利用が増え、いろいろな世代が集うことができる施設、活動できる施設にしていく必要があります。

## 問合せ先

子育て応援グループ ほっとみるくの会 会長 加藤雅代（自宅：0254-52-1284）

**事業名** [ のびのび塾 体験教室・料理教室 ]

**目的** 学校外における異年齢間の交流や食育・創作意欲を醸成し、子どもたちの「生きる力」を育む。

**実施主体** 南魚沼市教育委員会 社会教育課 生涯学習班

**参加対象** 南魚沼市内の全小学生 **参加者数** 1教室あたり24～50名

**回数** 12回 **日数** 毎月最終土曜日 **時間** 1教室2時間～2時間30分  
午前・午後の2教室

**場所** 南魚沼市内 各公民館・分館、ふれ愛支援センター(サンライズ南魚沼)、八色の森公園

**内容** 基本的に、奇数月の最終土曜日に体験教室、偶数月の最終土曜日に料理教室を実施。

回	期日・時間	テーマ	講師等
1、3、5、7、9、11	① 4月28日(土) ③ 6月30日(土) ⑤ 8月25日(土) ⑦ 10月27日(土) ⑨ 12月22日(土)・23日(日) ⑪ 2月23日(土)	①米粉のピザ ③包んでみよう！作ってみよう！ささだんご ⑤手作りクッキー ⑦カップ寿司 ⑨クリスマスケーキ ⑪肉まん(予定)	・料理教室講師 (市内在住栄養士) ・絵本読み聞かせ団体 ・南魚沼市ジュニアリーダーズクラブ
7、9、11	内容・方法	①米粉をこねて、生地から手作り。新入学1年生も多数参加できるように、2会場で開催。 ③団子に白あんを包み、さらに笹で包んで「すげ」で結ぶ。大人でも少し難しい。 ⑤アンケートで最も希望の多いお菓子。型抜きをせず粘土細工のように形作ったオリジナル。 ⑦新米収穫の季節、お米を使ったメニュー。参加申込が少なく、午前の部1教室のみの開催。 ⑨毎年一番人気で希望者多数のため、同じ内容で2日間4教室開催。 ⑪寒い時季なので温かく、持ち帰りにも適したメニューとした。	
2、4、6、8、10、12	期日・時間	テーマ	講師等
2、4、6、8、10、12	② 6月2日(土) ④ 7月21日(土) ⑥ 10月6日(土) ⑧ 12月8日(土) ⑩ 1月26日(土) ⑫ 3月23日(土)	②手作り石けん&バスボム ④びっくり！空気力&スーパーボールを作ろう！ ⑥チャレンジラリー！ ⑧クリスマスリース&クリスマスツリー ⑩手作りキャンドル ⑫手作りお箸(予定)	・のびのびスタッフ (市民による参画) ・魚沼・小千谷地域理科教育センター講師 ほか、市内外の講師 ・南魚沼市ジュニアリーダーズクラブ
6、8、10、12	内容・方法	②石けん素地をこねて柔らかくし形作る「石けん作り」と、重曹・クエン酸・コーンスターチ・水少々を混ぜ握って固める「バスボム(入浴剤)」を作った。 ④夏休み直前の教室なので、自由研究の参考になりそうな実験・実演を行った。前半は理科センター講師による「空気砲」作りと実験、後半はスタッフによるスーパーボール作り。 ⑥年1回の野外活動。一日教室。4～5人のチームに分かれ、公園内に設置されたクイズやゲームに挑戦、チーム毎の得点を競う。得点集計の間、ジュニアリーダーの指導でゲームも行った。 ⑧外部講師を招き、午前はリース、午後はツリーを作成。材料は全て天然素材を使用。 ⑩パラフィン湯煎で溶かし色や香りをつけ、牛乳パックで作った三角型などに芯を入れて流し入れ、冷やし固める。 ⑫角材を削りヤスリをかけて箸を作る。地元産の木材を使用し、森林の役割についても学びたい。	

**成果** ・どの教室も班活動を基本とし、他学校・他学年の子同士で班分けをしている。「知らない子とも仲良くなれた」「離れた学校の子と友達になった」等の感想が多い。  
・幅広い年代と関わりあいながら、自分の力で問題を解決する達成感を得られた。

**課題** ・スタッフの増員が急務。併せて、小学生とその家族以外の市民にも当時行のPRが必要。

**問合せ先** 南魚沼市教育委員会 社会教育課 生涯学習班(中央公民館) TEL: 025-773-6610  
担当: 井口由美子

**事業名**

〔 家庭教育事業「就学前の子育て講座」 〕

**目的**

家庭内における子育てについて考えてもらい、心身ともに心豊かな子どもに育ててもらう。

**実施主体**

聖籠町 教育委員会 社会教育課

**参加対象**

来年度新小・中1年生になる生徒をもつ保護者

**参加者数**

177名

**回数**

4回

**日数**

4日

**時間**

4時間

**場所**

山倉小学校・蓮野小学校・亀代小学校。聖籠中学校

**内容**

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	11月2日（金） 14：30～15：30 11月15日（木） 14：00～15：00	親子の絆を考える	胎内市立築地小学校 校長 宮本 均 様
	内容・方法 常に時代は変わっているという自覚を持つこと。親子での絆を深めていくためには、手を繋ぎ、会話をし、感動をともに味わうことがとても大切であるという講演会。 (山倉小学校・蓮野小学校)		
2	10月29日（月） 12月18日（火） 15：00～16：00	子どもの理解と親のかかわりについて	新潟県立大学 教授 石本 勝見 様
	内容・方法 幼児・小学生・中学生の発達段階を通して子育てについての心理的な面から、子どもを勇気づけるメッセージについての講演会。 (亀代小学校・聖籠中学校)		

**成果**

- 各会場で終了後アンケートを実施したことで、子育て中の話を聞いての気づきや親の受け止め方をかえることで、子どもへの見方もかわり、よりよい子育てにつながっていくなど大変役立ったとの回答がたくさん寄せられました。

**課題**

- 講演時間が1時間で、少し短かったので来年度に向けての検討課題である。

**問合せ先**

聖籠町 教育委員会 社会教育課 (担当：松井 智子) TEL：0254-27-2121

**事業名** [ 家庭教育セミナー ]

**目的** 子どもの心理や心身の成長に伴う親の役割、関わり方等について学ぶ機会を提供し、家庭での教育力向上を図るとともに、家庭教育の重要性について認識を深めてもらう。

**実施主体** 田上町教育委員会生涯学習係

**参加対象** 町内在住の18歳以上

**参加者数** 延べ35名

**回数** 2回 **日数** 2日

**時間** 10:00～11:30

**場所** 子育て支援センター（竹の友幼稚園内）

**内容**

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	6月19日（火） 10:00～11:30	子どもの睡眠、夜泣き、昼夜逆転で困っていませんか。	新潟大学医学部保健学科 准教授 住吉 智子 様
	内容・方法	年齢別に睡眠の種類やリズムなどを説明した上で、幼児期に必要な睡眠時間や適した昼寝の時間について指摘した。安心して睡眠できる環境づくりの重要性や夜泣きの原因の一つである腹痛を和らげる方法についても紹介した。	
2	11月21日（水） 10:00～11:30	大事です！子どもの食事、運動、睡眠	田上町社会教育指導員 健康運動管理士 田巻 昌良 様
	内容・方法	日本の四季や行事と食べものの関わりについて、昔から現代にかけての食生活の変化について説明した。また、最近の子どもたちの体に低体温などいくつかの異変が起こっていることを指摘し、その原因、子どもの体に及ぼす影響、対策などについて説明した。	

**成果**

- ・小さい子どもを持つ母親の参加が多く、託児を受け付けたことが好評だった。
- ・子育て支援センター（幼稚園内）と連携し、会場や運営面で協力を得ることができた。

**課題**

- ・乳幼児の母親向けの内容が多かったため、次は小中学生や高校生を持つ家庭向けのテーマを取り上げたい。
- ・開催日時、会場について参加者が集まりやすい条件を設定し、どんな内容にニーズがあるのかを把握する。

**問合せ先** 田上町教育委員会生涯学習係（担当：大平哲也） TEL0256-57-3114（田上町公民館）

**事業名**

〔 絵本・おはなしを語るための学習講座 ―ステップアップ絵本講座― 〕

**目的**

読み聞かせ活動をされている方が、どんな場面で、どんな学年（年齢など）に対し、どのような絵本やおはなしを選んだらよいのかを一緒に考え、やがて自らの判断で自信を持って本を選ぶことができるようになることを目指す。

**実施主体**

津南町公民館

**参加対象**

一般

**参加者数**

延べ45名

**回数**

2回

**日数**

2日

**時間**

4時間

**場所**

津南町文化センター和室

**内容**

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	10月20日 13:30～ 15:30	子どもと本をつなぐ ～伝わる～読み聞かせ絵本の選び方 それぞれの年頃の特徴をとらえた絵本の紹介	子どもの本研究所 根岸貴子 様
	内容・方法	■絵本の紹介を取り入れながら・絵本の楽しみ方を知るためには・どこに視点を置くか・どんな場面で使うか。 ■それぞれの年頃の特徴をとらえ、またはよく表れている絵本を各年代向けに1, 2冊紹介していく。 ■事前質問事項を含めた、質疑応答	
2	11月18日 13:30～ 15:30	語る楽しみ聞く楽しみ「ストーリーテリング」～多様な手法でおはなしを語る～	全日本語りネットワーク 佐藤涼子 様
	内容・方法	■おはなし（語り）を実際に聞き、いくつかのおはなし（語り）を紹介してもらいながら、語ることに聞くことの楽しさを知る・どこに視点を置いて選ぶか・どんな場面で使うか（具体的に小学校低、中、高学年、中学・高校生や一般、高齢者など）を軸に、多様なおはなしの手法を学習した。 ■事前質問事項を含めた、質疑応答	

**成果**

・子どもと本をつないできた、長年の経験者や実践者による専門的な講義は参加者からも評価が高く、また、単年度で終わらない継続した学習講座としての展開ができたことが、受講者からの疑問や不安材料などを拭っていくことにつながり好評だった。

**課題**

・参加申込人数に見合う使いやすい規模の研修室を提供することが困難なこと。また、このようにニーズの多い学習講座を単年度計画ではない継続した学習プランとして展開していくことが課題と考える。

**問合せ先**

津南町公民館生涯学習班（担当：福原育子） TEL：025-765-3134

**事業名**

〔 かりわっ子クラブ活動事業 〕

**目的**

夏休み期間中、各地区集会場を利用し、仲間づくりや体験活動を通して豊かな心を養う。

**実施主体**

刈羽村教育委員会

**参加対象**

刈羽小学校児童(1～3年生)の希望者

**参加者数**

79名

**回数**

7回

**日数**

7日

**時間**

19時間

**場所**

各地区集会場(4か所)、刈羽村生涯学習センター 及び ひだまりの里

**内容**

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	7月26日 9:30～11:30	開校式	コミュニティアドバイザー
	内容・方法	刈羽村生涯学習センター「ラピカ」に参加者全員集合し、レクリエーションを行った(桃太郎じゃんけん、トーチリレー)。	
2	7月29日 9:00～11:30	かざぐるまを作ろう&インターハイを見よう	コミュニティアドバイザー
	内容・方法	折り紙とストローを使用した工作及び高校総体ハンドボールを観戦した。	
3	8月2日 9:00～13:30	油田古民家「ひだまりの里」を探検しよう	コミュニティアドバイザー、 教育委員会
	内容・方法	映画「キャタピラー」のロケ地になった「ひだまりの里」を訪問。虫取りや裏山散策を行い、昼食には「油田はさ掛け米」で作ったおにぎりをいただいた。	
4	8月7日 9:00～11:30	バルーンを使って遊ぼう	コミュニティアドバイザー
	内容・方法	ペンシルバルーンで犬や花などを作製した。	
5	8月17日 9:00～11:30	アイロンビーズで遊ぼう	コミュニティアドバイザー
	内容・方法	アイロンビーズで個性あるアクセサリやコースターを作製した。	
6	8月21日 9:00～11:30	思い出に残った絵を描こう	コミュニティアドバイザー
	内容・方法	夏休みの思い出を絵で表現した。	
7	8月23日 9:30～11:30	閉校式	コミュニティアドバイザー
	内容・方法	刈羽村生涯学習センター「ラピカ」に参加者全員集合し、レクリエーションを行った(ビンゴゲーム、じゃんけんリレー)。	

**成果**

- ・ 子どもはいつも楽しそうに、時には真剣に活動を行っている。
- ・ 作品を家族へプレゼントする子が多く、嬉しそうに抱えて帰っていく。

**課題**

- ・ 参加者の多い地区と少ない地区の差が大きい。
- ・ 経費がかかるため、次年度から参加料徴収を検討している。

**問合せ先**

刈羽村教育委員会教育課 TEL: 0257-45-3933